

## ■欧州：デザーテックプロジェクトは2015年より供給を開始

ドイツ紙は2010年7月14日、サハラ砂漠に建設する太陽熱や風力発電所から欧州に電力を供給する巨大プロジェクト「デザーテックプロジェクト」が、2015年末には欧州大陸への電力供給を開始する計画であると報じた。同プロジェクトの運営事業体（DII）の統括責任者 Rauch 氏が地元紙のインタビューで明らかにしたもの。同プロジェクトは2009年にドイツ企業を中心とする12社が立ち上げたもので、サハラ砂漠の複数の箇所に太陽熱および風力発電施設を建設し、2050年までに欧州の電力需要の15%を供給するという壮大な計画である。参加企業はスペインやフランス、モロッコの企業などが加わり、現在では17社となっている。DIIは今後、試験プロジェクトを通してプロジェクトの実現可能性を探っていく模様で、最初の試験発電所となる太陽熱発電所はモロッコに建設される見通しである。同氏によると、モロッコ、アルジェリア、チュニジアの各政府と交渉を進めており、中でもモロッコは総エネルギーの95%を輸入に依存しており、同プロジェクトに最も関心を寄せているという。一方で、同プロジェクトの投資規模は約4,000億ユーロ（44兆4,000億円）に上るとされ、専門家や市場関係筋からは資金的に実現は難しいのではないかとの見方も出ている。これに対し同氏は「この数値は40年間の投資額である。現在の世界の再エネ向け投資額は年間1,000億ドル（8兆6,000億円）に達している」と述べ、同プロジェクトの実現可能性は十分にあるとした。DIIは現在、世界銀行などと融資の交渉を進めているとのことである。